

総合人文科学研究センター研究部門
現代社会における「想像力」の総合的研究

2021 年度第 2 回研究会の報告

日時：2021 年 7 月 24 日（土）10 時 30 分から 12 時 00 分
方法：Zoom 使用によるオンライン形式。

このたびの「想像力」研究 2021 年度第 2 回研究会は公開で開催し、部門構成員を含む 20 名程度の参加者を得た。今回は、阿比留久美先生（本学教授）が「教育学における民主主義と想像力ー民主主義はリアリティある価値になりうるのか？」という題目の下、話題提供を行った。また、御子柴善之（本学教授）がコーディネータを担当した。以下に、阿比留先生のご執筆による当日のまとめを掲げる。

民主主義は戦後日本の教育学が再出発する際の基本的価値であったが、いまやその位置づけは実践的にも理念的にもその魅力を後退させている。その一方で、シティズンシップ教育や主権者教育などの民主主義的価値と関連する価値や実践は 21 世紀になってから、新たに台頭し、教育現場に位置づけられているが、そこに民主主義という言葉は用いられることはすくない。果たして現代の教育学において民主主義はどのような位置を占めうるのか、現代においてもなお民主主義はリアリティある価値となりうるのかを検討した。（阿比留先生記）

次回の研究会は、10 月 30 日（土）に、オンライン形式で開催する予定である。（報告取りまとめ：御子柴）